市政だより

編集と発行 大阪市北区中ノ島1丁目 大阪市公聴課 村上精三 電話北浜㉓5051

No. 91 1954. 4. 56万の全ご家庭にもれなく配布 〔月刊〕

四月の暦

〝春だ 光だ 木を植えよう〟

四月は新学年、新年度が始まり 絲の運動、清掃運動、防犯運動とにぎやか

10日から 国際見本市
29日天皇誕生日
30日固定資産税納期限

5月——初夏の陽ざし さつきの空に鯉のぼり

1日「メーデー」
3日「憲法記念日」
5日「こどもの日」
9日「母の日」
とつゞく

市政メモ

—土木のページ—

道路延長	2,776キロ（面積 18.06平方キロ）
橋	1,183橋（鉄 390・コンクリート178 木484・石 98・その他33）
下水管延長	1,614キロ（排水面積26.30平方キロ）
マンホール	42,000・下水処理場2・ポンプ場65
公園	161 ・ 街路樹 17,800本
渡船	15 （一日乗客数 57,000人）
河川	57 （面積21.0平方キロ）

〝自治警支持〟が大多数
警察問題に強い関心

市立大学世論調査

都市社会の研究に当っている大阪市立大学社会学研究室では、先日、政府が国会に提出した警察制度改革案、特に自治体警察の存廃をめぐる諸問題を中心とした都市行政について大阪市民を対象に世論調査を実施、次のように調査の結果を発表しました。

千二百人を抽出

調査方法は、満二十才から五十九才までの男女市民から層化無作為抽出法で選んだ一、二〇〇人を対象に二月二十四日から六日間、四十人の大学生が個別に面接調査に当り、九九二人（回収率八一・七%）から有効回答を得た。

自治体警察の存廃をめぐる大阪市民の世論を要約すると——

▼警察法が変ることを知っているか。（数字は%）

「知っている」	七七・一
「知らない」	二二・九

態度がよくなった

▼終戦前と現在との警察の変った点について

「変ったと思う」	六三・九
「変らない」	一四・九
「わからない」	二一・二

○「変ったと思う」ものを分類すると

「態度がよくなった」	五八・一
「民主的になった」	二一・四
「何となくよくなった」	九・〇
「素質がおちた」	五・〇
「新しいことをやるようになった」	二・二
「自覚が高まった」	〇・八
「感じが悪くなった」	〇・五
「その他」	三・〇

七割強が廃止反対

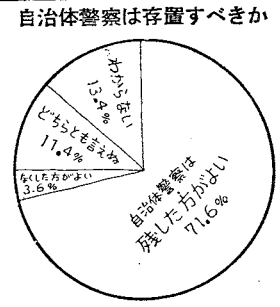
▼自治体警察は残した方がよいかどうか

「残した方がよい」	七一・六
「なくした方がよい」	三・六
「どちらともいえぬ」	一一・四
「わからない」	一三・四

○「残した方がよい」の分類

性別 男子	七五・二
性別 女子	六八・一
支持政党別 保守系	六九・一
支持政党別 革新系	八二・五

自治体警察は存置すべきか



以上のように今回の調査では、大阪市民の大多数は警察が市民の手から離れていくことに反対しているといえるが、このことは単に警察制度だけでなく都市行政全般についても、行政機構の官僚化、中央集権化、非民主化に市民は深い不安を抱いていることが明かである。

民主政治が世論に基いて行われるべきものとすればこの調査の結果は現在の政治のあり方に一つの問題を投ずるものといえる。

世界の商品を集めて
国際見本市10日から開催

国際取引の
ヒノキ舞台
土曜、日曜には一般にも公開

アメリカ、スイスなど十六カ国が参加して開かれる日本国際見本市については、市政だよりでも度々お知らせしましたが、いよいよ四月十日から二週間、世界の注目をあびながら内本町の国際見本市会館を中心にはなばなしく開催されます。

何しろ、わが国では最初の試みであり、しかも貿易日本の前途をかけ、あわせて大阪市の海外への宣伝、海外観光客の誘致を図ろうという催だけに各方面からその成果が期待されていますが、国内はもちろん海外での反響は予想外にすばらしく、第一会場（国際見本市会館）第二会場（安治川埠頭）は、各国の工業技術の粋を集めた繊維、機械金属、原材料などの商品約五万点でぎっしり埋められ、さながら世界の商品を一堂に集めた感があります。

一方、取引と観光をかねた見本市訪問団も空から海からそくそくつめかけ、会期中に来阪する外人客は出品者関係延九千、一般バイヤーその他延六千、計一万五千人に上るものと見られ見本市の盛況がうかがえます。

会期中は国際的な商取引のヒノキ舞台として連日活況を呈することでしょうが、今回の国際見本市がわが国輸出産業の振興に役立つだけでなく各国民相互の信頼と親愛感を高める上に少しでも役立てば本当に意義深い見本市の収穫といえましょう。

なお、見本市事務局では、殺到する外人客に備えて伊丹飛行場や大阪駅などにサービス案内所を設けたり、会場間に連絡バスを運転したり、第二会場にも出品事務を処理する事務局を設けるなど見本市のスムースな運営を期していますが、この国際色豊かな催しを単に貿易業者だけでなく広く一般の方々にもご覧いただくこと十日、日曜を開放、みなさま多数のおこしをおまちしています。

大阪駅前のテーマ塔と、円内は第一会場

アキスにご用心
春の防犯手帖

暖かい春は、何かと外出する機会も多くそれにお互いの心もゆるみ勝ちになり毎年、スリ、アキス、自転車泥棒などの犯罪がめっきり増加します。

そこで、春の防犯心得といったものを一、三拾ってみましょう。

一、自転車の盗難予防には、丈夫な錠前を二つ以上つけて目の届く所におき、絶えず監視すること

一、アキスには、戸締りを十分にし、近所に留守番をしっかり頼んでおく

一、スリを防ぐには、混雑したのりものや場所で懐中物や持物に十分気をつける

一、置引きには、駅の待合、行楽の憩いの場所などで手荷物に注意する

派出所を復活
〝急用あればいつでも〟

警視庁では巡査が絶えず受持地域を巡回する今までの警ら制度を廃止、今月から、巡査が常駐する派出所制度（交番所）を四年半ぶりに復活しました。

今までの警ら制度の下では、急病人がでた時など急に巡査の手助けが必要な場合、連絡所に巡査がいないためにいろいろご不便やご迷惑をおかけすることが再々ありましたが、これからは市内三三九の各派出所に四人ないし六人の巡査が交替で常駐、受持地域の警ら立番、連絡警ら（家庭訪問）に当りますのでそのような心配もなくなり、また巡査の勤務も今までの三部制（八時間勤務）から二昼夜交代の二部制勤務に改められましたので警備力も一段と充実し、犯罪防止により以上力を注げるようになりました。

さらに、先日ご記入をお願いしました案内簿（派出所に常備）作成用の調査カードはみなさまのご協力を得てほとんど回収できてご家庭と警察を結ぶ連絡警ら制度も近く軌道にのり、今回のむかしなつかしい派出所制度の復活とともにこんご一層市民の警察としての務めを果せることと存じます。

ラジオ成人学校
五月から開校

奥様方はじめご家庭で多忙な日々をお過しの方々のご勉強に少しでもお役に立てばと、五月からラジオを通じての成人学校を開くことになりました。教養を高める楽しい学びの時間としてお仕事のかたてまにどうぞお聞き下さい。

放送時間は、ABC朝日放送、毎週金曜日の午後二時から二十分間で、うち十五分間が成人学校の番組にあてられ、残り五分間はいろいろな市政ニュースをお伝えすることになっています。

なお、おまちかねの第九期成人学校は来月上旬から開校する予定で、このほかご婦人の成人学校（昼）や青年学級（夜）の開校も計画しています。